

40期(2021年10月期) 第2四半期業績と通期計画

～ 景気変動、自然災害、そしてウィルスにも強い会社へ ～

2021年6月18日

株式会社システムディ

代表取締役会長 堂山 道生

代表取締役社長 藤田 雅己

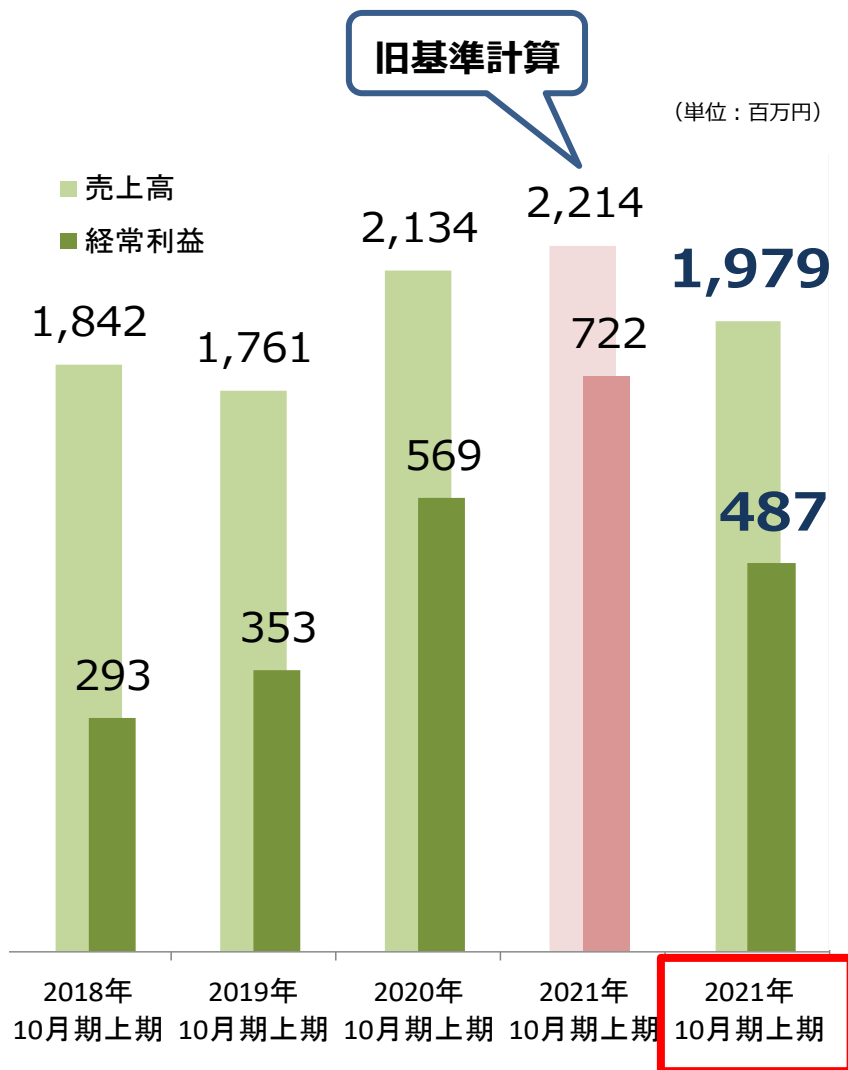


システムディ会社説明会
於：兜町平和ビル

(2021年4月30日現在)

社名	株式会社 システムディ		
代表者	代表取締役会長 堂山 道生	代表取締役社長 藤田 雅己	
創業	1984年8月14日	上場日	2006年4月27日
資本金	4億8426万円		
役員・従業員数	254名（内シンク9名、システムディ北海道2名）		
事業内容	特定業種向けのパッケージソフトの開発・販売、クラウドサービスの提供		
取引銀行	三井住友銀行、三菱UFJ銀行、滋賀銀行、京都銀行		
発行済株式数	6,498,000株		
株主数	2,608名		
資格	ISMS認証（ISO 27001）、プライバシーマーク付与認定		
所在地	本社 : 〒604-8172 京都市中京区烏丸通り三条上る 東京支社 : 〒105-0012 港区芝大門2-10-12 KDX芝大門ビル6F		
主要顧客	NTT東日本、NTT西日本、NEC、富士通-富士電機、パナソニック、日本事務器、大塚商会、京セラコミュニケーションシステム、大学、フィットネスクラブ、自治体、民間企業 他		
主要仕入先	マイクロソフト、富士通、NEC、ソフトバンク 他		

2021年10月期第2四半期 決算概要



売上高 ▶ 計画通り

対予算： △ 4 百万円 (99.8%)

対前年： △ 154 百万円 (92.7%)

経常利益 ▶ 大幅過達

対予算： + 153 百万円 (146.1%)

対前年： △ 82 百万円 (85.5%)

2021年10月期より新しい収益認識基準を採用しており、実質的には（旧基準による計算では）

前年を上回る実績 となった。

当初計画比

(単位：百万円)

	2021年10月期 計画値	2021年10月期第2四半期			
		計画値	実績	計画増減	計画比 (%)
売上高	4,085	1,983	1,979	△ 4	99.8
売上総利益	1,912	894	976	82	109.2
営業利益	773	333	487	153	146.1
経常利益	773	333	487	153	146.2
当期純利益	532	230	334	104	145.1

前年同期比

(単位：百万円)

	2020年10月期 第2四半期実績	2021年10月期第2四半期		
		実績	前年増減	前年同期比 (%)
売上高	2,134	1,979	△ 154	92.8
売上総利益	1,085	976	△ 109	90.0
営業利益	569	487	△ 82	85.6
経常利益	569	487	△ 82	85.6
当期純利益	394	334	△ 60	84.9

貸借対照表

JASDAQ
3804



総資産 4,227 百万円 (前期 4,576 百万円)

純資産 2,861 百万円 (前期 2,982 百万円)

自己資本比率 67.7 % (前期 65.2 %)

自己資本比率がさらに強化。
長期戦略に基づく投資計画が
実行可能。

連結会計年度 (2021年4月30日)

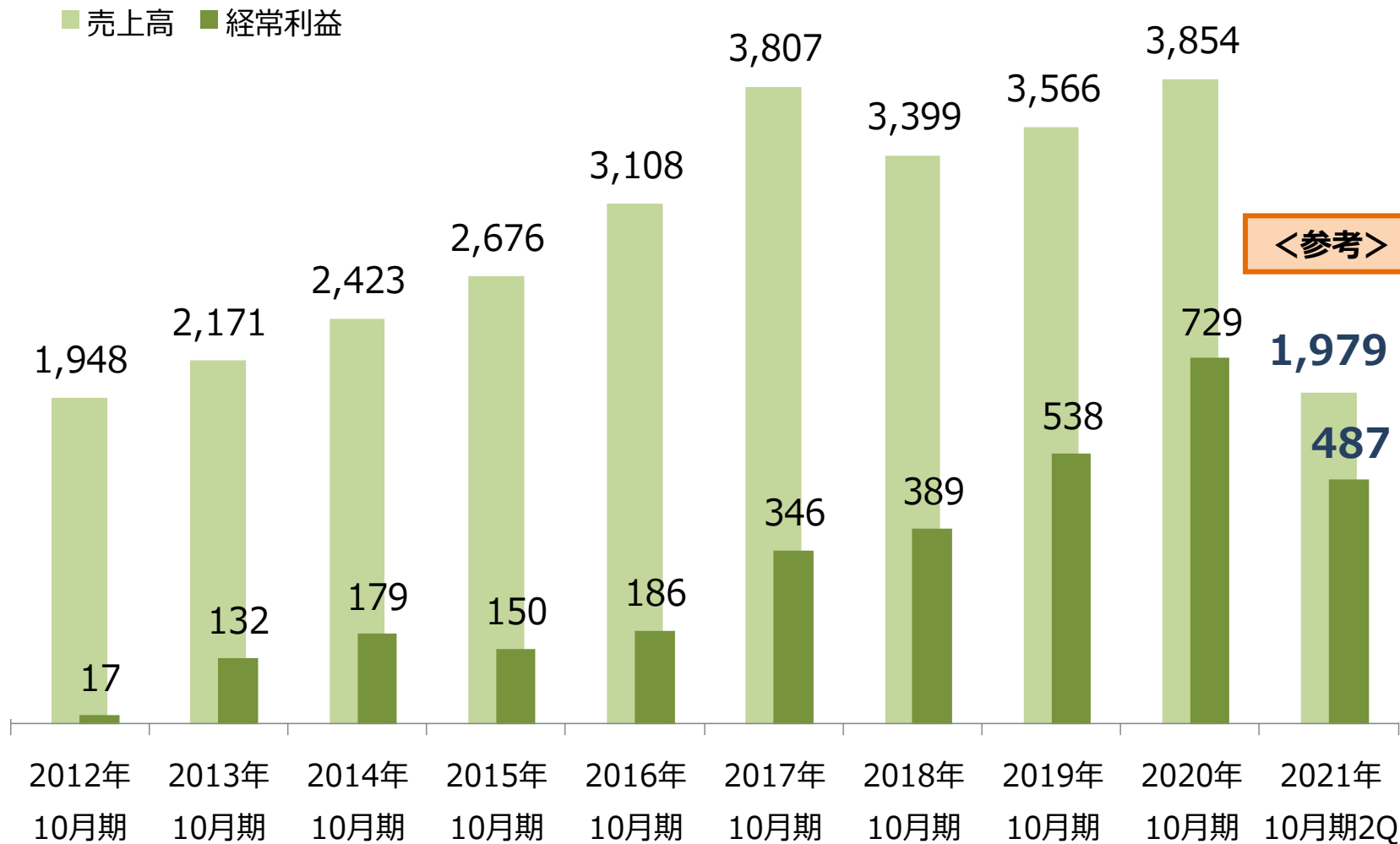
借方	貸方
流動資産 1,505 百万円 (前期末比 405百万円減)	流動負債 1,016 百万円 (前期末比 219百万円減)
固定資産 2,722 百万円 (前期末比 57百万円増)	固定負債 350 百万円 (前期末比 7百万円減)
資産合計 4,227 百万円	純資産 2,861 百万円 (前期末比 121百万円減)
	負債純資産合計 4,227 百万円

■ 売上高・経常利益の推移

JASDAQ
3804



(単位：百万円)



■ 収益性・安定性に関する指標の推移

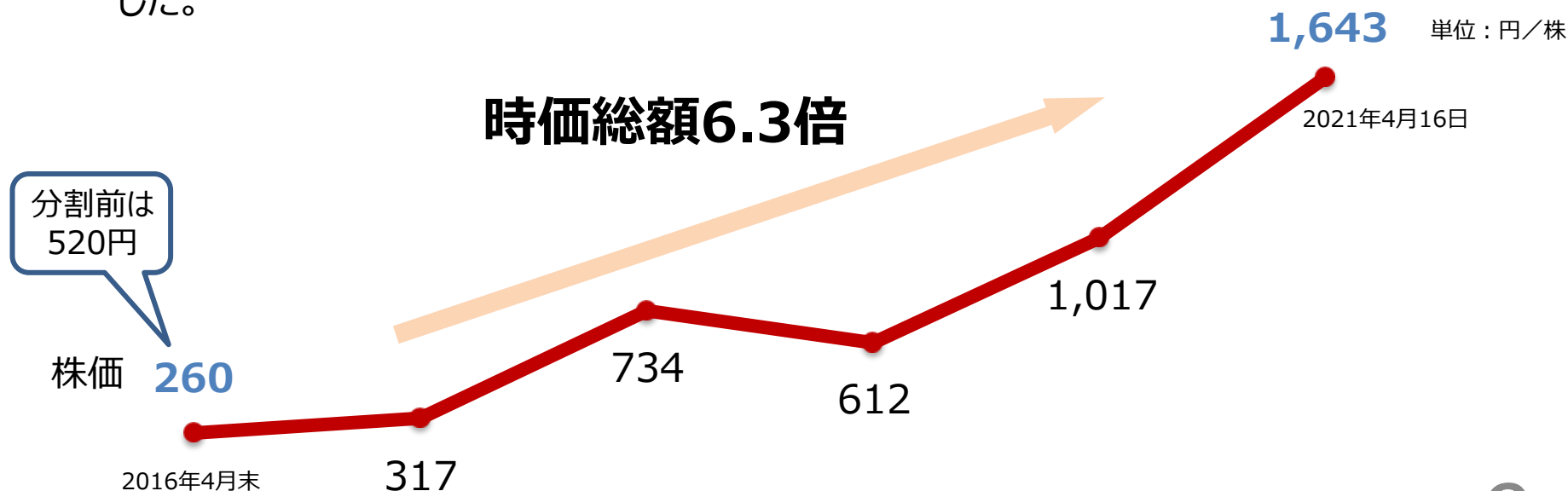
JASDAQ
3804



	2014年 10月期	2015年 10月期	2016年 10月期	2017年 10月期	2018年 10月期	2019年 10月期	2020年 10月期	2021年10月期 上半期 実績
1株当たり 当期純利益 (EPS)	28.5円 (57.0円)	22.4円 (44.8円)	20.6円 (41.3円)	36.7円 (73.5円)	39.8円 (79.6円)	59.0円 (118.0円)	78.7円 (157.4円)	52.0円
自己資本 当期純利益率 (ROE)	13.1%	9.3%	7.9%	12.8%	12.4%	16.2%	18.5%	11.4%
総資産経常利益率 (ROA)	5.8%	4.4%	5.0%	9.3%	10.3%	13.5%	16.8%	11.1%
売上高営業利益率	7.8%	5.9%	6.2%	9.2%	11.5%	15.0%	18.9%	24.6%
自己資本比率	47.5%	45.2%	46.4%	54.1%	56.9%	61.6%	65.2%	67.7%
1株当たり純資産 (BPS)	230.5円 (461.0円)	251.3円 (502.6円)	270.1円 (540.3円)	304.7円 (609.5円)	339.1円 (678.2円)	391.1円 (782.2円)	459.4円 (918.8円)	447.0円

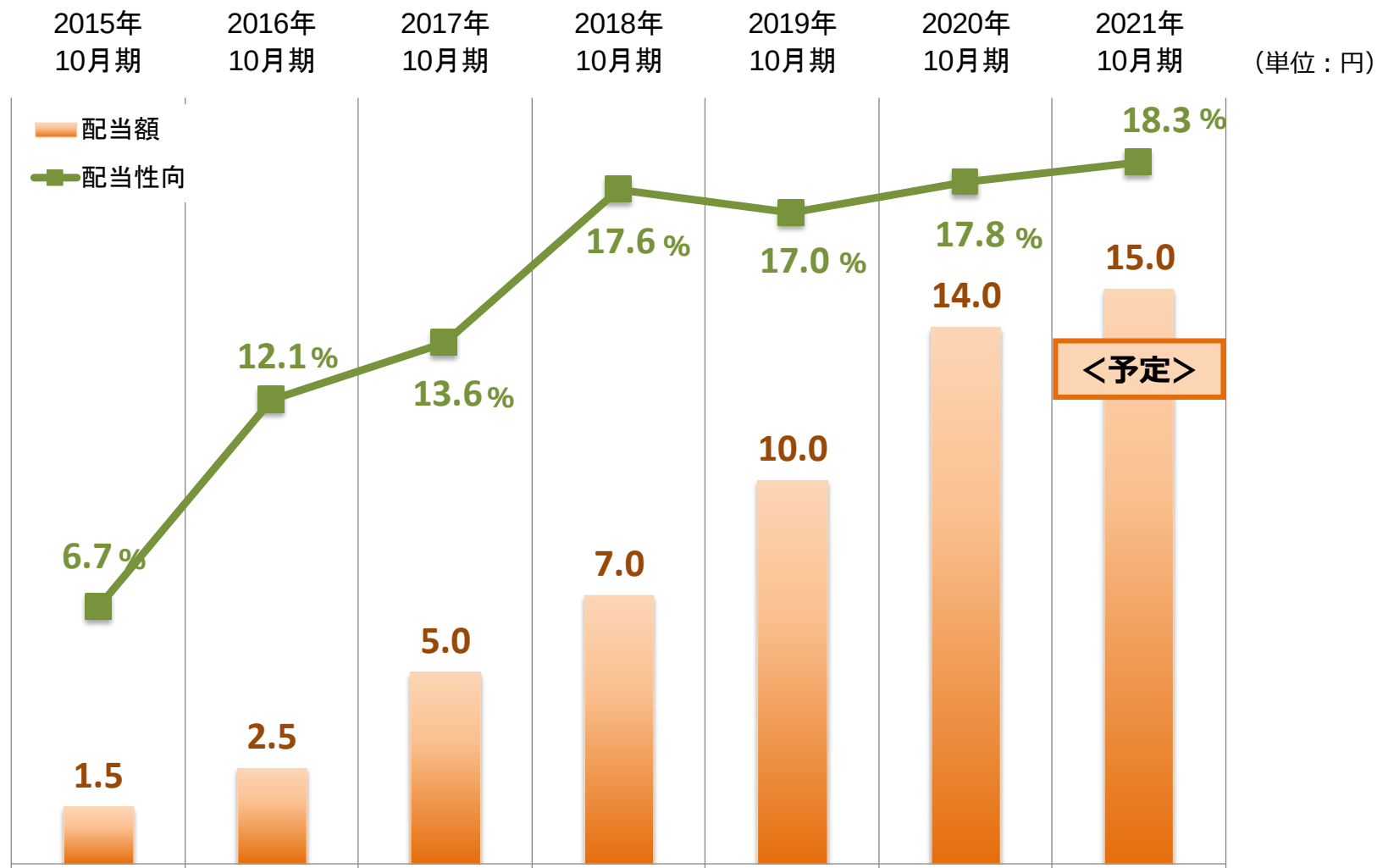
※カッコ内の数字は、株式分割前の値です。

- 2021年5月24日日本経済新聞の記事『NEXT1000』において、「時価総額の増加率が大きい企業」の一つとして当社が取り上げられました。
- 売上高100億円以下の中堅上場企業を対象に5年前と比べた時価総額の増減率を調べたもので、時価総額の伸びが6.3倍の18位にランキングされました。
- 調査対象となった2016年4月末、及び2021年4月16日の当社の株価は、それぞれ、520円（2分割前）、1,643円で、結果、時価総額はこの5年で6.3倍となりました。



■ 配当額・配当性向の推移

JASDAQ
3804



■ 将来的な開発投資等に備えて内部留保しつつ、安定的な配当を維持しております。

※ 2018年5月に1 : 2の株式分割を実施しており、配当額は遡って修正しています。

システムディのパッケージビジネス

パッケージソフトによるトータルソリューションの提供

**完全注文生産
(オーダーメイド)**

注文生産より圧倒的にコストが小さく、
市販パッケージソフトよりも格段に
柔軟性が高い。

定期的なバージョンアップにより、常に
時代を先取りしたシステムを開発し、
最新・最善のソリューションを提供。

**市販の
パッケージソフト
(レディメイド)**

イージーオーダー型 自社開発パッケージソリューション

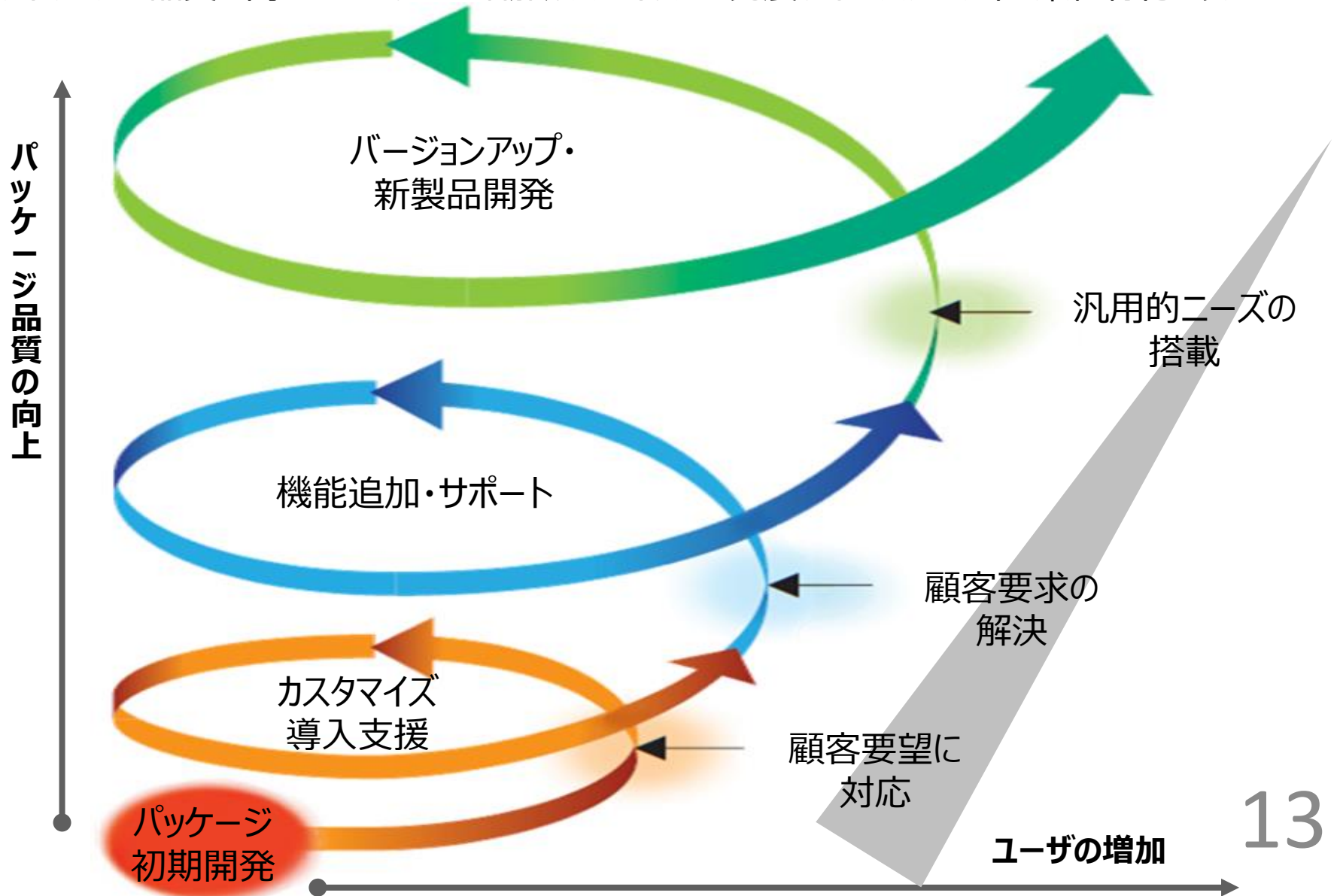
自社開発のパッケージソフトをベースに、顧客の業務上の
課題を解決し、要求をカスタマイズして、
提案から導入・保守まで総合的にサポートするサービス

■ システムディのパッケージは進化する

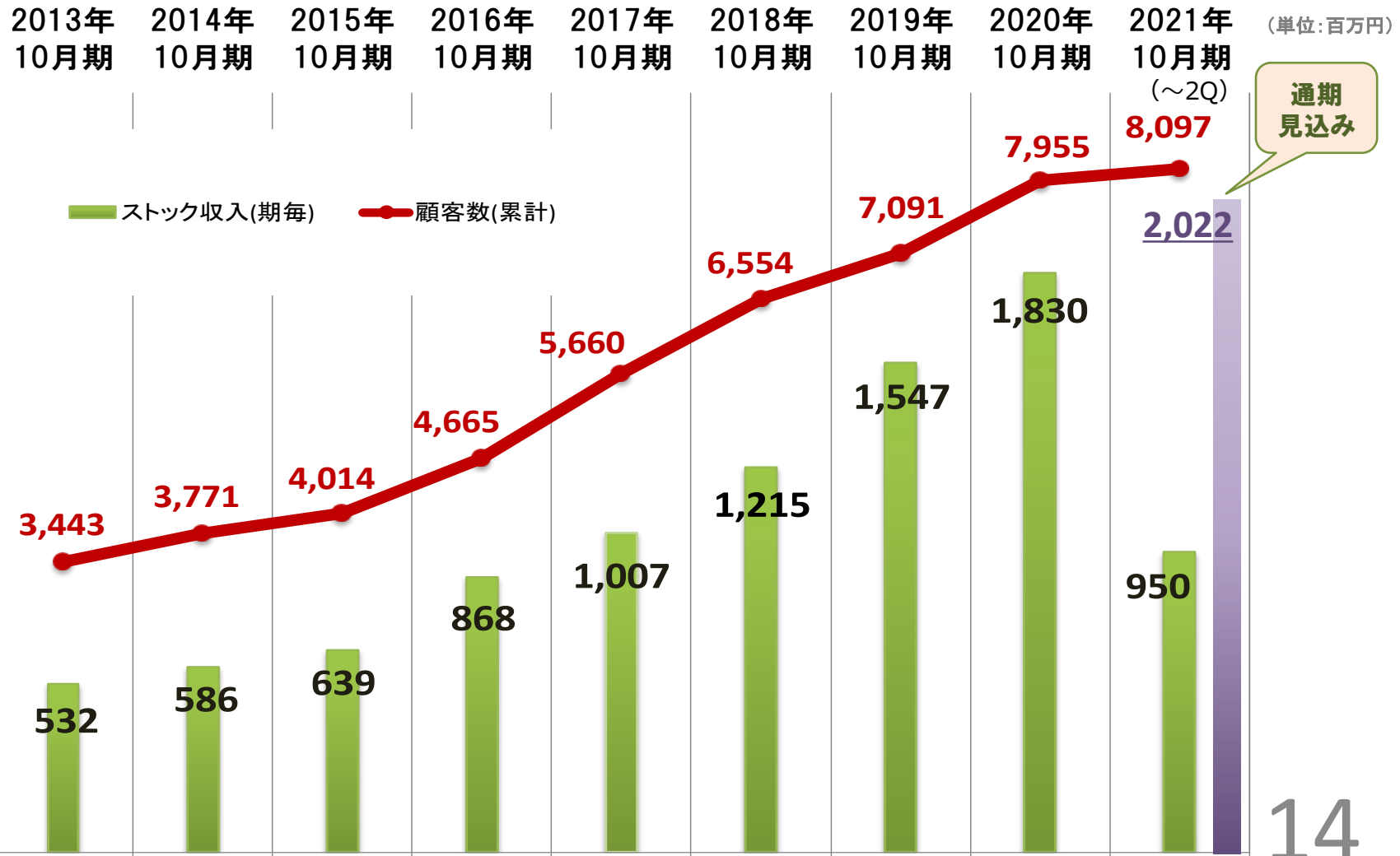
JASDAQ
3804



ソフトウェアの品質の向上とユーザーの増加がスパイラルに発展するシステムディの業種特化パッケージ



スtock (ランニング) 収益の伸張



■ 6つの事業部門

JASDAQ
3804



主要製品・サービス		累計顧客数
学園 ソリューション	『Campus Plan .NETFramework Ver.10』 学園情報総合管理システム 『アンシサイト』 保護者向けBtoBtoCサービス 『Campus Plan Smart』 次世代学園総合情報システム New	1,001
ウェルネス ソリューション	『Hello EX』 フィットネスクラブ・スポーツ施設向け会員管理システム 『すこやかHello』 公共体育施設運営支援システム 『Hello Fun』 アミューズメント施設向け運営管理システム 『Smart Hello』 次世代クラウド型会員管理システム New	1,195
ソフトエンジニア リング	『規程管理システム』『規程管理システム 金融機関版』 『契約書作成・管理システム』 『規程・マニュアル管理システム』	512
公教育 ソリューション	『School Engine』 クラウド型校務支援サービス 校務支援、学校用グループウェア、学校用メール連絡網 『Home Services』 児童生徒に関する成績・出欠・活動情報をリアルタイム に保護者へ提供 New	3,068
公会計 ソリューション	『PPP Ver.5 新統一基準対応版』 地方公会計システム 『PPP クラウド (Azure) 』 クラウド型地方公会計システム New 『Common財務会計システム』 地方公共団体向け財務会計システム New	1,093
薬局 ソリューション (株式会社シンク)	『GOHL2』/『OKISS』 調剤薬局向けレセコン 『薬歴情報電子ファイル』 保険薬局向け薬歴情報システム 『GOHL PICKING』 医療品過誤防止システム	1,228

合計 8,097

40期第2四半期 事業部別売上構成

ソフトウェア

リング事業

119,782千円

6 %

その他

※シンク、システムディ北海道、テナント収入等

36,663千円

2 %

公会計

ソリューション事業

238,999千円

12 %

公教育

ソリューション事業

485,311千円

25 %

学園ソリューション
事業

715,934千円

36 %

ウェルネス

ソリューション事業

383,028千円

19 %

売上総額 : 1,979,717 千円

■ 各事業部の取り組み - 1. 学園ソリューション事業

JASDAQ
3804



学園運営をトータルに支援する学園情報管理システム『 Campus Plan 』

- 学校業務の全てを網羅したパッケージシステムをラインアップ。
- 少子化対策の一環として、学生・生徒から、保護者、教職員に至るまで、徹底したサービスをクラウドにより提供。
- 大規模大学を獲得しつつ、中小規模学園の経営強化の支援となるサービスを提供し、さらなるシェアの拡大を目指す。



Campus Plan for .NET Framework / for Azure

The screenshot displays the 'Campus Plan' software interface. The top section is titled '任用情報登録' (Appointment Information Registration) and shows fields for '対象日' (Target Date) and '対象年度' (Target Year). Below this, there are tabs for '表示項目設定' (Display Item Settings) and '任用情報一覧入力' (Appointment Information List Input). The main area shows a list of staff members with columns for '職別' (Position), '氏名' (Name), '氏名(姓)' (Surname), '氏名(名)' (Given Name), 'フリガナ(姓)' (Surname Kana), 'フリガナ(名)' (Given Name Kana), '職別' (Position), '職別' (Position), '職別' (Position), and '職別' (Position). The bottom section shows a '辞令書' (Appointment Order) form with fields for '氏名' (Name), '氏名(姓)' (Surname), '氏名(名)' (Given Name), 'フリガナ(姓)' (Surname Kana), 'フリガナ(名)' (Given Name Kana), '職別' (Position), '職別' (Position), '職別' (Position), and '職別' (Position).

◆ 主な導入先

— 全国**1,001**の学園に導入 —

日本大学、帝京大学、中央大学、上智大学、近畿大学、東京都市大学、流通経済大学、日本女子大学、フェリス学院大学、桃山学院大学、京都文教大学、北星学園大学、埼玉医科大学、関西医科大学、聖路加国際大学、東京医科歯科大学、東京藝術大学、千葉大学、埼玉大学、滋賀医科大学、宮城大学、札幌医科大学、千葉県立保健医療大学、京都コンピュータ学院、文化服装学院、山野理容美容専門学校、富士調理技術専門学校、慶應義塾高校、國學院大學久我山高校、青森山田学園 等

Campus Plan
Smart

New

2019年11月 リリース ラインナップ拡充中

■ 各事業部の取り組み - 2. ウェルネスソリューション事業

JASDAQ
3804



スポーツ施設の運営支援システム『Hello EX』 & 文化・観光施設運営支援システム『Hello Fun』

- フィットネスクラブ、公共体育施設、スポーツジム、テニススクール等に『Hello EX』『Hello ASP』『すこやか Hello』を展開。
- 新製品 文化・観光施設の運営支援システム『Hello Fun』をリリース、引き合い多数。

スポーツ施設 運営支援

クラウド型 新システム



文化・観光施設 運営支援

アンチエイジングサービス



◆ 主な導入先

ー 全国**1,195**の施設に導入 ー

【民間スポーツ施設】メガロス（野村不動産ライフ&スポーツ株式会社）、コナミスポーツクラブ、東急スポーツオアシス、トータルワークアウト、アシックススポーツコンプレックス東京ベイ、ダンロップスポーツクラブ、24フィットネスアミーゴ、フィットネスジム Vace1、溶岩ホットヨガスタジオ アミーダ、テニスラウンジ、他

【自治体・公共団体】有明スポーツセンター、尼崎市スポーツ振興事業団、京都テルサフィットネスクラブ、郡上市総合スポーツセンター、川崎市民プラザ、他

【民間企業】西武園ゆうえんち、庭の湯、明治神宮外苑アイススケート場、DMMかりゆし水族館、太閤園、他



各事業部の取り組み - 3. ソフトエンジニアリング事業

JASDAQ
3804



民間企業・公益法人・学校法人等の法令遵守、事業防衛、提携促進を支援

- 業務に特化したパッケージシステムを武器に、民間企業、公益法人、学校法人に対してソリューションを展開。
- 業種に特化したサービスの手始めに、金融機関向け規程管理システム・契約書作成・管理システムを開発、営業展開中。

規程管理システム / 契約書・作成管理システム

規程管理システム 新旧対照表	
改正案	現行
経営会議規程	経営会議規程
1993年4月1日制定	1993年4月1日制定
1996年4月1日改定	1996年4月1日改定
1997年4月1日改定	1997年4月1日改定
2010年1月1日改定	1997年10月1日改定
第1条 【規程の目的】 この規程は、経営会議の構成、運営等を定めて、経営会議の円滑な運営を図ることを目的とする。	第1条 【規程の目的】 この規程は、経営会議の構成、運営等を定めて、経営会議の円滑な運営を図ることを目的とする。
第2条 【経営会議の構成】 1. 経営会議は、取締役会長、取締役副会長、取締役社長、各事業部長及び本社各部署責任者をもってこれを構成し、取締役社長は経営会議の議長となる。但し、取締役社長に事故あるときは取締役会長がこれを代行する。 2. 経営会議において必要と認められた時は、前項の構成員以外の関係者を出席させ、その意見を徴することができる。 3. 本社経営部長を経営会議の幹事とする。幹事は会事の事務処理を担当する。	第2条 【経営会議の任務】 経営会議は、取締役会の定める基本方針に基づいて業務の執行を行う取締役社長を補佐し、会社経営に関する全般の重要事項を審議する。 第3条 【経営会議の構成】 1. 経営会議は、取締役会長、取締役社長、各事業部長及び本社各部署責任者をもってこれを構成し、取締役社長は経営会議の議長となる。但し、取締役社長に事故あるときは取締役会長がこれを代行する。 2. 経営会議において必要と認められた時は、前項の構成員以外の関係者を出席させ、その意見を徴することができる。 3. 本社経営部長を経営会議の幹事とする。幹事は会事の事務処理を担当する。
第3条 【経営会議の開催】 経営会議は、原則として毎月1回、第3水曜午後4時より本社会議室に	第4条 【経営会議の開催】 経営会議は、原則として毎月1回、第2金曜午後2時より本社会議室に

企業・学園・公益法人のコンプライアンス・
コーポレートガバナンス支援製品で事業展開

『規程管理システム』『契約書作成・管理システム』
『規程・マニュアル管理システム』 etc.

◆ 主な導入先

— 512の民間企業・公益法人に導入 —

【学校法人】立教大学、東京農業大学、法政大学、大阪経済大学、高知県公立大学法人、京都産業大学、明治学院大学、上智学院等

【民間企業】日本航空株式会社、TOHO CINEMAS、株式会社エイチ・アイ・エス、中外製薬、三井倉庫ホールディングス、フジモトHD株式会社、株式会社ユーシン精機、株式会社永谷園、はごろもフーズ株式会社、リンガーハット、北陸銀行、北海道銀行 等

【社団法人・財団法人・公益法人・独立行政法人】社会医療法人財団 石心会、社会医療法人 生長会・社会福祉法人 悠人会、公益財団法人 日本サッカー協会、JETRO（日本貿易振興機構） 等

■ 各事業部の取り組み - 4. 公教育ソリューション事業

JASDAQ
3804



国公立の小・中・高校向け校務支援システム『School Engine』

- 都道府県（公立高校）に対して圧倒的なシェアを確保し、デファクトスタンダードの地位を確立。
- 全国の市町村立の小・中学校（約30,000校）にクラウド展開。

スクール エンジン
School Engine

新サービス『Home Services』
2021年4月リリース

■ 校務支援 ■ 学校徴収金管理 ■ グループウェア ■ メール連絡網



成績一覧入力

2014 年度 クラス：6年1組

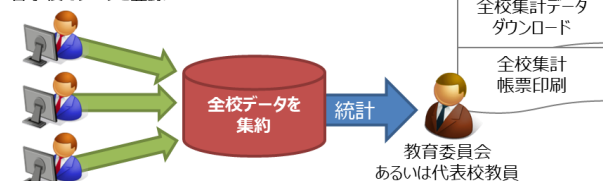
ファイル名 参照...

読み込み用フォーマット書き出し 登録データ書き出し 読み込み

戻る メインメニュー ログアウト

更新	1学期	2学期	3学期	要録	評価	1学期	2学期	3学期	要録	評価	1学期	2学期	3学期
国語への関心・意欲・態度	A	A	A	A	A	B	A	A	B	B	B	A	A
話す・聞く能力	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B
書く能力	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B
読む能力	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B
国語についての知識・理解・技能	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A
書写	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B
社会的事象への関心・意欲・態度	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B
社会的な思考・判断・表現	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A
調査・資料活用技能	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A
社会的事象についての知識・理解	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A
調査への関心・意欲・態度	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B
数学的な考え方	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B
数量や図形についての技能	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B
数量や図形についての知識・理解	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A

各学校でデータを登録



第11号様式 調査書

立 科 高等学校 (コース・部・専攻)

志願先 立 科 高等学校 (コース・部・専攻)

氏名 仙藤 七太 性別 男

生年月日 平成 10 年 10 月 25 日生

転入学年月 平成 年 月

転入学 第 学年 転入学

卒業年月 平成 26 年 3 月 間 中学校 (卒業見込) 卒業

現住所 ○○県△△市 □□123番地

各教科の学習の記録

教科	観点別学習状況	2年	3年	学年	学習活動の内容	活動状況及び所見
国語	国語への関心・意欲・態度	A		2年	地域にすむ様々な国	工夫を凝らして発表した
	話す・聞く能力	A				
	書く能力	B	4			
	読む能力	A				
社会	国語についての知識・理解・技能	A		3年	地域にすむ様々な国	工夫を凝らして発表した
	社会的な思考・判断・表現	A				
	調査・資料活用技能	B	4			
	社会的事象についての知識・理解	A				
数学	数学への関心・意欲・態度	A		4年	総所見及び諸活動の記録	特別活動等の記録
	数学的な考え方	B				
	数量や図形についての知識・理解	A				
	数量や図形についての技能	A				
理科	数量や図形についての知識・理解	A		4年	総所見及び諸活動の記録	特別活動等の記録
	科学的な思考・態度	B				
	観察・実験の技能	A				
	自然事象についての知識・理解	B				
音楽	音楽への関心・意欲・態度	A		3年	総所見及び諸活動の記録	特別活動等の記録
	音楽表現の創造工夫	A				
	音楽表現の技能	B				
	音楽鑑賞の技能	B				

18県4政令市10中
核市をはじめとする
3,068校に導入

北海道、岩手県、福島県、埼玉
県、千葉県、石川県、山梨
県、静岡県、滋賀県、兵庫県、
和歌山県、広島県、香川県、
愛媛県、高知県、福岡県、大
分県、宮崎県

(政令市) 京都市、堺市、
札幌市、熊本市

(中核市) 久留米市、奈良
市、甲府市、姫路市、越谷市
他

20

自治体向け地方公会計システム『PPP(トリプル・ピー)』 & 『Common 財務会計システム』

- 『PPP Ver.5 新統一基準対応版』 競合他社に先駆けて完成。
- 2018年6月には、活用の視点から地方創生を支援する、公会計活用システム『創生』をリリース。
- 1,788自治体、1,544関連公共団体を対象。

**新サービス『Common 財務会計システム』
2021年3月リリース**

PPP

Principal Publicaccounting Package

自治体会計(現金主義・単式簿記会計)を発生主義・複式簿記に基づいて、公会計財務諸表と固定資産台帳を作成。会計制度の新統一基準に完全対応。

The screenshot displays the PPP software interface. The top section shows a form for entering asset details, including asset number, name, and location. Below this, there are tabs for 'Basic Information', 'Attribute Information', 'Public Management Information', and 'Map Information'. The 'Basic Information' tab is active, showing a table of assets with columns for acquisition year, acquisition date, and acquisition reason. The 'Map Information' tab shows a map of the area, with a search bar and a list of locations. The map view includes a scale bar and a compass.

**13府県6政令市7特別区
を含む全国の自治体、関
連公共団体、会計事務所
等、1,093団体に導入**

秋田県、山形県、福島県、茨城県、新
潟県、静岡県、京都府、奈良県、鳥取
県、島根県、広島県、宮崎県、沖縄県

さいたま市、千葉市、川崎市、静岡市、
浜松市、岡山市

台東区、墨田区、品川区、目黒区、中
野区、杉並区、板橋区

秋田市、越谷市、横須賀市、水戸市、
豊田市、甲府市、姫路市、奈良市、高
松市 等、24中核市に導入

保険薬局レセコン・POSレジシステムなど多彩なシステムで保険薬局業務を支援

- 『薬歴情報電子ファイル』及び、新商材・医薬品過誤防止システム『GOHL PICKING』による既存ユーザの深耕と、新規ユーザの獲得に向け全国展開。

New

■ 医薬品過誤防止システム『GOHL PICKING』

レセコンで入力された処方せんデータをもとに、調剤棚よりピッキングした医薬品のバーコードを照合して、医薬品のピッキングミス防止するシステム

No	患者名	医薬品名称	総数量	単位	備考
2	シンク 花子	メトグルコ錠250mg	294	錠	
1	シンク 太郎	エグア錠50mg	98	錠	
		アダラートGR錠20mg	49	錠	
		クレストールOD錠2.5mg	49	錠	
		ディオバン錠80mg	49	錠	
		ルセフィ錠2.5mg	49	錠	
		ライゾデグ配合注フレックスタッチ	7	キット	
		ロキソニンテープ50mg	10	枚	



■ 薬局向けレセコン『GOHL2』／『OKISS』

「簡単な操作性」と「安価に導入いただけるシステム」をテーマに開発したレセコンシステム



■ 保険薬局向け薬歴情報システム『薬歴情報電子ファイル』

わかりやすく簡単に使える、電子薬歴ガイドラインの基準を満たした電子薬歴システム

2021年10月期の計画

※2021年10月期は、不確実な環境の中にあつて、中長期的な戦略の実現可能性を高めるため、ストック収益をより強固にし、「**強靱なシステムディ**」の事業基盤を構築する。

- 新規パッケージシステムのリリース、拡販等により、さらなるシェアの拡大をはかる。（累計10,000ユーザ）
- その結果、サポート契約・クラウド契約を積み重ね、より強固なストック基盤を構築する。（ストック比率50%）
- ストックビジネスを維持・拡大して、高効率なビジネスを展開する。（売上高営業利益率20%）
- 景気変動にも自然災害にもウィルスにも負けずに、安定的な成長を継続する。（営業利益 年率10%成長）

（単位：百万円）

	2020年10月期 (39期) 実績	2021年10月期 (40期) 第2四半期			2021年10月期 (40期) 計画
		計画	実績	計画比	
売上高	3,854	1,983	1,979	99.8%	4,085
営業利益	727	333	487	146.1%	773
営業利益率	18.9%	16.8%	24.6%	-	18.9%
経常利益	729	333	487	146.2%	773
純利益	510	230	334	145.1%	532

■ 収益認識基準の早期適用について（１）

JASDAQ
3804

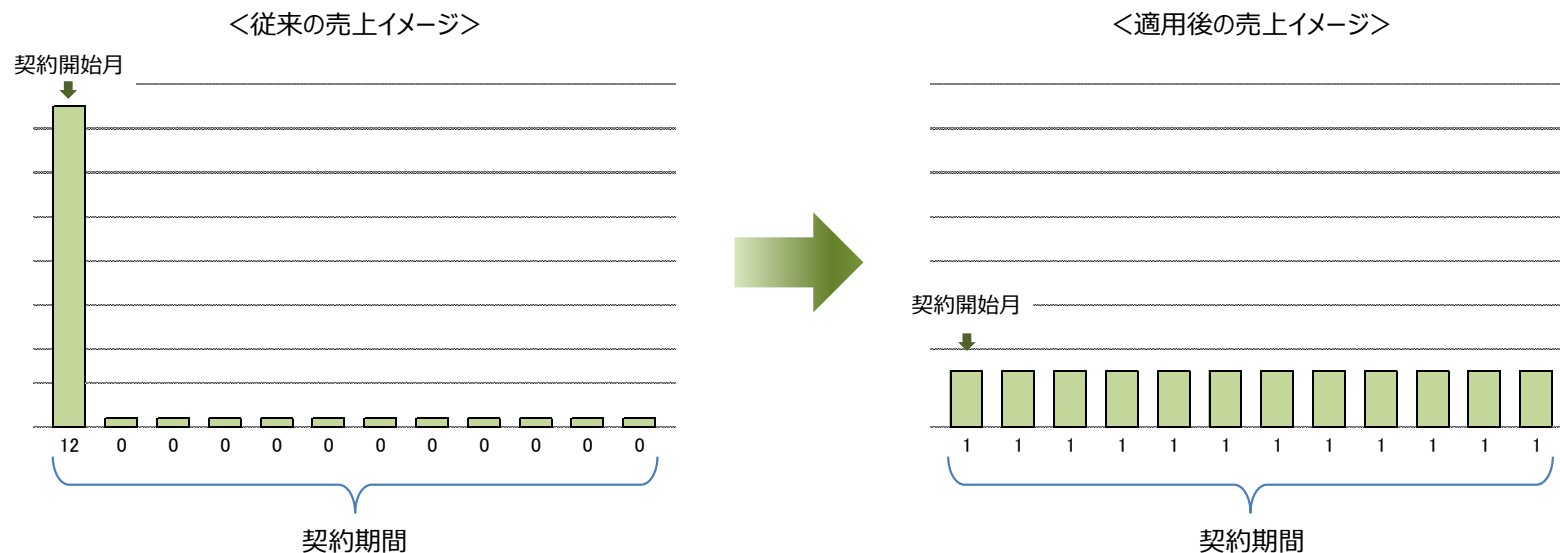


従来当社は一部の年間サポート契約等について、契約月に1年分の契約金額を一括計上しておりましたが、**収益認識基準を早期適用**するにあたり、契約金額を契約期間で均等按分して計上することにいたしました。

これにより、契約開始月が4月に集中していた年間サポート契約等が、4月の一括計上から12ヶ月に按分計上されることになり、当社第2四半期に集中していた売上・利益が年間を通して平準化されることになりました。

（既存サポート契約等に関して、上半期売上の約216百万円が、均等按分の結果下半期の売上となります。（通期では大きな増減なし））

収益認識基準適用の影響（イメージ）



■ 収益認識基準の早期適用について（２）

JASDAQ
3804



収益認識基準を適用することにより、契約開始月に一括計上していた年間サポート契約等は年間を通じて各月に平準化して売上計上します。その結果、当社特有の業績季節変動（2Qと4Qに売上・利益が集中）が緩和されることになります。

その結果、40期の予算は、上期・下期のバランスが例年とは違い、上期に偏重しがちであった業績が下期に分散されることになります。（既存の年間サポート契約等売上だけで、約216mが下期の売上となります。）

また、40期前半はまだコロナ禍の影響を比較的大きく見込んでおく必要があり、好調であった39期上期実績（当初利益予算より約205m多い、569mを計上）と比較して、40期上期予算は約△236mの333mの見通しを立てています。 **<上期実績は、△82mの487mを計上>**

< 39期の予算と実績との比較 >

（単位：百万円）

（経常利益）	上期	下期	通期
39期予算	364	242	606
39期実績	569	160	729
差額	205	△ 82	123

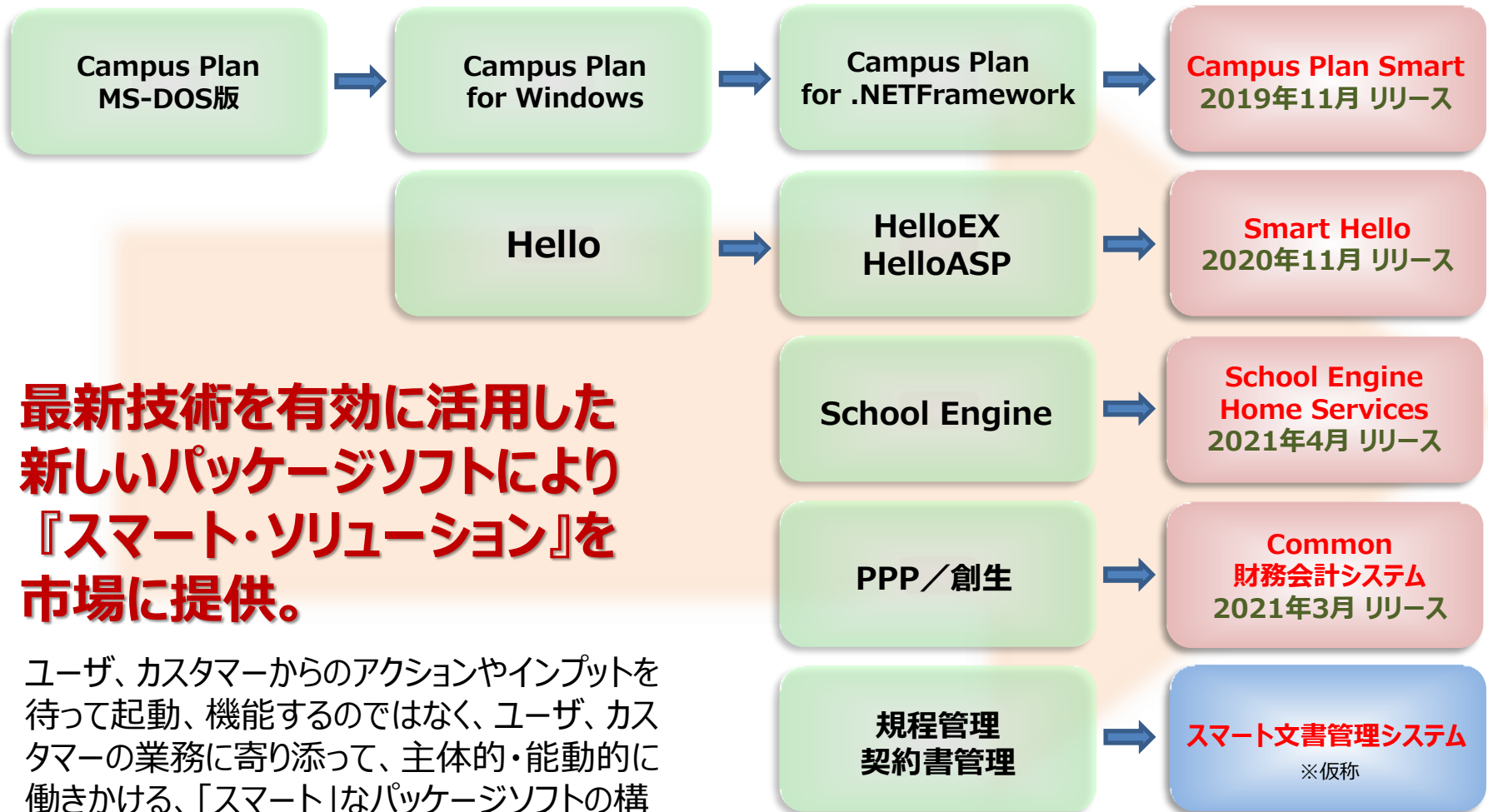
< 39期の実績と40期の予算との比較 >

（単位：百万円）

（経常利益）	上期	下期	通期
39期実績	569	160	729
40期予算	333	439	773
差額	△ 236	279	44

- 売上高営業利益率：20%を目指す。 **上期は到達、通期でも**
- ストック収益の割合：50%を目指す。 **前期47.5%、上方修正**
- 自己資本比率：60%以上をキープ。 **既に到達、健全に維持**
- 累計顧客数：10,000件（事業所）を目指す。 **まだまだ**
- 入社3年後の社員定着率：90%超をキープ。 **常にキープ**

パッケージソフトの進化



**最新技術を有効に活用した
新しいパッケージソフトにより
『スマート・ソリューション』を
市場に提供。**

ユーザ、カスタマーからのアクションやインプットを待って起動、機能するのではなく、ユーザ、カスタマーの業務に寄り添って、主体的・能動的に働きかける、「スマート」なパッケージソフトの構築を目指す。

利用者側のメリット

- ◇インターネット経由でシステムを利用するだけ。
- ◇サーバ等の設備・保守、セキュリティ対策は不要。
- ◇月額利用料のランニングコストだけで、インシャルコストを節約。



School Engine Home Services
2021年4月 リリース

Common財務会計システム
2021年3月 リリース

会員・運営管理システム『Hello ASP』

『Campus Plan for Azure』

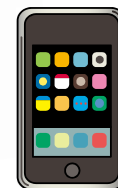
『規程管理システム
クラウド・サービス』

公立小中高校向け校務支援サービス
『School Engine』

Smart Hello
2020年11月 リリース

公会計クラウドシステム
『PPPクラウド』

Campus Plan Smart
2019年11月 リリース



サービス提供側のメリット

- ◇一つのサーバ環境で多くのユーザに対してサービス提供が行え、管理コストが大幅に削減。
- ◇システムの更新・メンテナンスは、サーバ内で一括で行うことができ、メンテナンス作業を省力化。
- ◇長く利用いただければ、インシャル一括売上より収益増。

**利益率アップ
ストック収益増**

新たな地域創生ソリューションへの飛躍



景気変動にも、自然災害にも、ウィルスにも負けない 強靱な事業体を築く

売上高営業利益率 **20%**

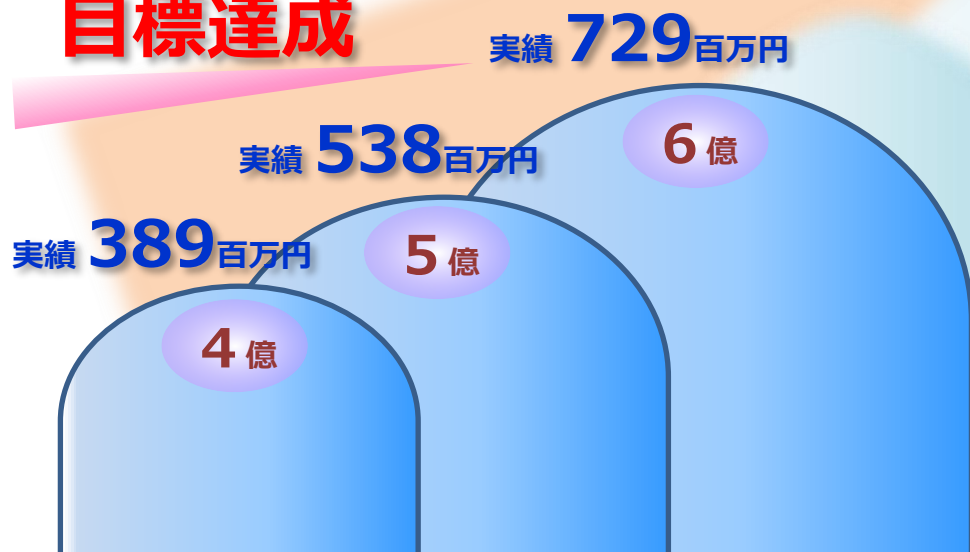
ストック収益 **50%**

→ 前年比 **10%** アップの成長軌道へ

営業利益

10億円企業へ

目標達成



2018年10月期 2019年10月期 20**20**年10月期

次世代パッケージソフトのリリース・拡販

新規事業・海外展開

地域創生・公共ビジネス

働きがい改革・生きがい改革

累計**10,000**ユーザ目指して

本日はお忙しい中、
ご参加頂きましてありがとうございました。
今後ともシステムディを宜しくお願い致します。



株式会社 システムディ
代表取締役会長 堂山 道生
代表取締役社長 藤田 雅己